



パブロ・ピカソ「人物」昭和2年(1927)



木田金次郎「新雪の羊蹄山」昭和16年(1941)

1926年に始まった元号「昭和」。
2025年は昭和100年の節目
の年です。「しりべしミュージアム
ロード」の作家たちは、まさに
「昭和」時代を生き抜いた人物た
ちぞろい。科学技術の進歩、戦
争、国家や社会の大きなうねり：
「平成」「令和」を経て、今現在を
形作る時の流れは、作家たちが生
み出す芸術にも大きな影響を与え
ました。64年にわたる「昭和」、
その時々で作家が過ごした時代の
様相に思いを馳せながら、「絵描
きたちの昭和」を巡る小旅行へ、
みなさまをご案内いたします。

2025年 7月12日(土)～
9月23日(火・祝)

岩内ニセコ倶知安岩内共和
荒井記念美術館「Picasso1926-1973」
有島記念館「藤倉英幸展—ノスタルジック—」
小川原脩記念美術館「画家たちの旅 昭和45年」
木田金次郎美術館「昭和20年以前」
西村計雄記念美術館「昭和26→30年」

主催／一般財団法人荒井記念美術館、有島記念館、小川原脩記念美術館、木田金次郎美術館、西村計雄記念美術館
後援／公益財団法人道銀文化財団、しりべしミュージアムロード推進協議会、後志学芸員連絡協議会

しりべしミュージアム ロード共同展

絵描きたちの昭和



小川原脩「根津夕景」昭和8年(1933)



藤倉英幸「夕げのしたく」昭和59年(1984)



西村計雄「日本おとり」昭和31年(1956)